

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16 19	毎月、月次報告(介護サービス計画の目標に基づいた支援内容や日常生活の状態、健康面や行事外出参加等を書式に記入し、家族等に報告し確認を受ける。)また、三か月に一度、家族へ訪問を願い担当者会議を実施するが、普段の訪問面会時になかなか声掛けできなかつたりすることを反省。 更なる共同の支援体制を築くためにも、面会時等、職員皆が、明るく声掛けを行い、話しやすい雰囲気を作っていく。	家族や親族等へ、職員側から積極的に話しかけ、職員と家族が億劫なく状態の共有を図って行ける。	家族より、親を入居させていることに引け目を感じ、面会が億劫になる話しを聞かれたことがあった。通院の協力は、半数のご家族より得ているが、その際も当たり前とせず、家族等へ労いの言葉や、面会時に職員側から明るく声をかけ、日常生活のエピソードや情報を交換し、グループホームが第二の我が家として安心していただけるよう心掛けて行く。また、利用者と家族2つの支援を意識したい。	6ヶ月
2	32	現在、自施設では看取りは行っていない状況となっているが、利用者の中で、隠れていた病気が悪化し、末期を支援することがあった。医療との連携を図っているが、入院体制が難しい状況もあり、重度化や看取りに対するケアの力は持っていない。	利用者の重度化や看取りに対するケアの研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの研修(医師や看護師より講話) ・寝たきりや重度化の研修(看取り施設の実習等) ・移乗、移動、チェアー浴、清拭等の技術研修。 	12ヶ月
3	34	年1回は同町内会と合同の避難訓練を実施している。また、家族等の参加希望も受けている。協同における避難体制を確実にしたい。	避難したか一目でわかる目印を各居室に設置し、確実な態勢を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の有無の目印を居室ドアに設置を検討。 ・家族参加の検討。 	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。